

2017 vol.48

UR

UR都市機構の情報誌 [ユーアールプレス]

P R E S S

特集 団地を超えて 「まちへ」

新しいまちの魅力づくりへの
挑戦が始まっている



Special
Interview

理想のレスリングは、まだできない
それを見つけるのがこれからの人生

女子レスリング選手

伊調 馨さん
(ALSOK)



伊調 馨

さん (ALSO K)

女子レスリング選手

理想のレスリングは、
まだできない

未来を

照らす

11

Special
Interview

Kaori Ichō

それを見つけたのが

これから的人生

世界選手権優勝10回、オリンピック4連覇の快挙を達成、
そして国民栄誉賞受賞と、
いまや名実ともに日本を代表する
アスリートとなった伊調 馨選手。
自分の理想とするレスリングを追い求める
求道者のような一面と、
オフを楽しむ普通の女性の顔を持ち、
飾らない人柄が魅力です。
レスリングの面白さとこれからの生き方について、
率直に語っていただきました。

2016年を振り返り
オフの時間を満喫中

リオデジャネイロオリンピック
クを終えて、今は少しゆっくり
しています。オリンピック前ま
では練習のことを考え、遊びも
本気で楽しめなかったんですが、
今は疲れるまで遊ぼうと思って。
先日は青森時代からの親友家族
とテーマパークに行きました。
日本の観光をアピールするお仕

事でニューヨークに行
ったときには、2泊4
日の弾丸スケジュール
でしたが、空き時間に
五番街で買い物したり、
ミュージカルも見たり
して存分に遊びました。

でも、ゆっくりしていても、
体を動かしたいなとか、レスリ
ングをやりたいかなるので(笑)、
時間があるときは走ったり、高
校生たちとレスリングをしたり



2016年10月、国民栄誉賞の贈呈式で、金色の西陣の帯を贈られる伊調さん。
写真提供 公益財団法人日本レスリング協会

しています。筋肉はすぐ落ちる
ので体重が3〜4キロ減りまし
たが、脂肪がつかないように、
筋トレなどで体が変わらないよ
うに努めています。

「わからない」のが
レスリングの魅力

レスリングを始めた頃のこと
は、正直言って覚えてないん
です。3歳ということにしてい
ますが(笑)、まだオムツをして
いた頃から、兄や姉がやってい
る横でマット運動をしたり、父と
じゃれたりしていたのが最初だ
ったと思います。

土曜と日曜に、家の近くの「八
戸クラブ」に通っていたので
が、2時間のうち、基礎体力練
習が1時間で、レスリングをす
るのは45分くらい。友達と一緒
に厳しい練習に挑んで、コーチ
におおられるのが楽しかったで
すね。週に2回しかないのがさ
びしくて、もっとやりたいと思
っていました。

試合には、幼稚園の頃から出
ていました。小学1年生のとき
に3回戦で初めて男の子と当た
り、その子の顔が怖くて、泣い
て試合放棄したこともあります
(笑)。でも、2年生で再度その
子と当たったときは、免疫がつ
いたせいか泣かずに、延長戦の
末に勝ちました。

その頃に教えられて今も心に残っているのは、挨拶をするのとと、誰よりも先に行動する先行的だね。指示を受けたり誰かがやっているのを見て始めたりまするのではなく、自分から積極的に動いて、誰よりも先に練習を始めるとか。それは今も身に付いています。当時、女子レスリングはまだオリンピック種目になっていなかったですし、競技人口も少なかった。でも、そんなことに関係なくレスリングが好きでした。常にやるべきことや反省することがあるので、これまでやめたいとかつらいと思ったことは一度もありません。子どもの頃は勝つことがうれしくて、純粹にレスリングが楽しかったですね。今は少し「好き」の意味が変わりました。

レスリングの何が好きか……？
そうですね、「わからないこと」
ですね。レスリングって、やれ
ばやるほど難しくなるし、まだ
まだやりたいことも、やれてい
ないこともたくさんある。どれ
だけ時間があっても足りないん
です。もっと追究したい、強く
なりたいと思っています。

留学と男子合宿参加が
大きな転機に

レスリングに対する気持ちが大きく変わったのは、北京オリンピックが終わって、カナダに留学したことが大きいです。

カナダでは、週に2、3回、大学生やOBにまじってレスリングをやっていました。それまでの自分は、勝たなければいけないという世界にいて、プレッシャーでガチガチになっていた部分がありました。でもカナダでは、みんな勝つことにこだわらず、本当にレスリングを楽しんでいたんです。「負けても殺されるわけではないし、死ぬわけではないですよ」と言われて、はつと目が覚めたというか。純粋に好きだからレスリングをするという気持ちを思い出したんです。

もうひとつ、カナダから帰国後、男子ナショナルチームの合



2015年に行われた全日本選手権決勝で、フォール勝ちをおさめた伊調選手。©ヤブキフォト

宿に参加したのも、大きな転機になりました。正直、その頃はレスリングを続けようか迷っていた時期でした。でも、その合宿でこれまで教えてもらったこ

とのない説明の仕方や、トレー
ニング方法を知って、すごく新
鮮でした。

女子に比べて選手層が厚いなか、絶対にメダルを取るという

ロオリンピックでも、自己採点では中身は5点。金メダルに免じて30点です。

高得点の要素は、そのときどきに応じて自分が練習してきた技や、やりたかった展開にもっていくことができることかな。

今まで自分のなかで高得点をあげた試合はありませんが、あえて言えば、ロンドンオリンピックですね。1回戦から4試合すべて、思い通りに技が決まったのが、その理由です。

レスリングを軸に
いろんなことに挑戦したい

中学校まで青森県の八戸市で過ごしました。八戸は雪はあまり降りませんが、やませの影響で風が冷たくて寒いんです。その分、魚がすごくおいしいです。今、東京で一人暮らしをしています。が、ときどき八戸の魚を送ってもらうほどです。

北京オリンピックが終わった後、実家はUR都市機構が整備



いちょう・かおり

1984年青森県八戸市生まれ。

兄と姉の影響で子どもの頃からレスリングを始め、愛知県の中京女子大学付属高校から中京女子大学（現・至学館大学）を経て現在はALSOCK所属。

アテネ、北京、ロンドン、リオデジャネイロオリンピックで女子個人として史上初の4大会連続金メダルを獲得。

世界選手権優勝10回。

2016年に国民栄誉賞を受賞した。

ハンクリー精神をもつて練習に取り組んでいる姿も衝撃でした。そういう姿を見て、自分はレスリングの技術も考え方も、向上心もまだまだだ。中身のない金メダリストになってはいけない、と心から思いました。

合宿では、初心に返って0からやり直しました。私は教わったことを頭で理解しないと体が動かないので、最初の頃は考え過ぎて頭が痛かったくらい。試合では本能的な部分も確かにあると思いますが、基本はやはり練習の賜物なんです。

男子は減量が厳しい分、食事面の意識も進んでいました。それ以来、3大栄養素をしつかりとり、サプリメントやプロテインも必ず飲むなど、何が体のためになって、何を食べたらいいかを常に考えるようになりました。今は、健康おたくです(笑)。

この2つの出会いがなかったら、きっと3連覇も4連覇もしていなかったと思いますし、本当に感謝しています。

自分にとって100点満点のレスリングは、まだはつきりとはわかりません。リオデジャネイ

懸命に取り組みました。

これからの夢は、結婚もしたいですし、ママになるのも夢の一つです。子どもが生まれたらママが第一優先(笑)。そうなると選手は厳しくなるのかな、とも思います。

指導者にも興味があります。ちびっこからナショナルチームまで、それぞれに面白さがあると思うので、どの世代をやつても楽しいだろうと思います。

東京オリンピックに関しては、まだ決断していません。それまでは、自分探しというか、これまでレスリングばかりで、まだ触れていないものがたくさんあるので、やりたいことや興味のあることに取り組みたい。

でもやっぱりレスリングは一番好き。レスリングを軸に、いろんな活動をしていければと思っています。

「UR PRESS」オンライン版で、パソコンやスマートフォンから伊調 馨さんのインタビュー動画がご覧いただけます。
(2017年4月末まで)



特集

TOKYO
東京

OSAKA
大阪

団地を

新しいまちの
魅力づくりへの挑戦が
始まっている

まち超えて

昭和30年代に誕生した
日本の団地は今、
大きな転換期を迎えている。
本格的な少子高齢社会が
団地とまちに押し寄せ、
かつての活気が
失われつつあるなか、
新たなパートナーと連携して、
地域の価値を覚醒させ
まちと団地を再び元気にする
試みが始まっている。

ひばりが丘では、団地の建
て替えを機に、民間事業者
と連携した新しいまちづく
りが始まっている。

「UR PRESS」オンライン
版で、パソコンやスマホ
からドローンで撮影した
ひばりが丘の動画をご覧
いただけます。



WEB UR PRESS

福田正紀=ドローン撮影

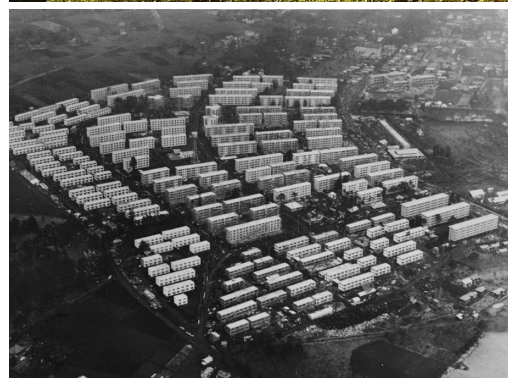


上／戸外で行われたまちにわ主催のイベント(上)や、「ひばりテラス118」で開催されたアロマ教室。エリア外からの参加者も多い。

左／まちにわ ひばりが丘のスタッフ、青木留美子さん(右)と中島衣里さん。2人とも関西出身で、「この仕事を通してたくさんの人と知り合いになれたことがうれしい」と話す。



建て替えに際し、長屋形式の2階建て住宅「テラスハウス」118号棟を残した。この内部を改修して、住民同士の交流の場「ひばりテラス118」が誕生。「ひばりテラス118」には、カフェ「COMMA,COFFEE」(写真右)や自由に使えるコミュニティースペースがつくられた。



写真／日刊建設工業新聞社

上／高層に建て替えて集約し、ひばりが丘パークヒルズとして生まれ変わった団地。松やケヤキなどの緑が豊かに残り、団地全体が大きな公園のような雰囲気だ。左／昭和30年代後半のひばりが丘団地。約33.9haに2～4階建ての住棟が184棟。建設当時は最先端の建物として注目され、皇太子(当時)ご夫妻をはじめ、たくさんの要人が視察に訪れた。



建て替えを機に多世代がつながるまちが生まれた

ひばりが丘パークヒルズ 東京都西東京市、東久留米市

約60年前、当時最先端の住まいとして誕生したひばりが丘団地。建て替えを機に、民間デベロッパーとパートナーの関係を結び、多様な世代の人々が生き生きと暮らす、新しいまちが生まれている。

生まれ変わったひばりが丘団地

敷地の中央を東西に貫くけやき通りを見渡して、建て替えられたひばりが丘団地のゆったりと広い空間と木々の豊かさに圧倒された。車路に沿ってケヤキの太木が20メートルほどの高さまで枝を伸ばし、その背後には舗道、さらにベンチを配した緑地が広がっている。通りと緑地をはさんで立つ住棟は12階建てだが、50～60メートルもの間隔があって圧迫感はない。樹木と高層住宅が調和した、美しいまちなみが広がっていた。

丘駅から徒歩なら約15分、バスで約6分。西東京市と東久留米市にまたがる約33・9ヘクタールもの広大な敷地に、ひばりが丘団地が誕生したのは1959(昭和34)年。戸数2714戸の首都圏初の大規模団地は、当時最先端のモダンな間取りと設備を備え、団地内には公園や野球場、学校、スーパ―などがつくられて、その後の団地の手本になった。

この「憧れの団地」も40年以上がたち、UR都市機構は1999年から団地再生事業に着手。樹木など既存の環境資源を生かし、緑と十分な空間を確保したまちづくりと、団地の歴史を継承することを基本方針として、まず賃貸住宅の建て替えを実施。2012(平成24)年に完了、ひばりが丘パークヒルズに生まれ変わった。

さらにこの団地再生事業では、新しい時代を開く画期的な取り組みが進められた。「民間事業者と連携してのまちづくり」と、多様な世代が生き生きと暮らし続けられる「ミクストコミュニティの形成」だ。

事業パートナー方式で新しいまちづくり

これまでの4階建てと2階建てを高層化したことで、敷地には広大な土地が生まれた。ここに高齢者や子育てを支援する公共公益施設を誘致。住宅地として譲り渡すことになった約7ヘクタールの土地に関しては、エリア全体の価値を向上させるためにUR都市機構と連携し、協議のうえで開発を進める民間事業者を募る、UR初の「事業パートナー方式」を取り入れている。

「街区ごとに雰囲気異なるパッチワークのようなまちにならないよう、民間事業者の発想・ノウハウを活用しながら、調和したまちづくりを目指しました」

とUR都市機構ストック事業推進部主幹の木村仁紀は言う。UR都市機構と事業パートナーとなっ

地域の住民自身の手でまちに「和」をつくる

敷地の西側の端に、レトロな2階建ての建物がある。UR都市機構が残した旧団地のテラスハウスだ。まちにわひばりが丘が改修してエリアマネジメントの拠点「ひばりテラス118」が誕生。内部はおしゃれに改装され、友人同士の集まりや教室などに利用できる大小6つのコミュニティースペースや、コーヒーや軽食を提供するカフェもあり、敷地内に住む人だけでなく、誰でも利用が可能だ。ここではベビーマッサージ講座やアロマや書道、英会話、ヨガの



団地の南側には、地域の在宅介護・医療の拠点となる「日生ケアヴィレッジひばりが丘」がある。エレベーターを増築し、住棟全体をバリアフリー化したサービス付き高齢者向け住宅は、常に満室だ。



エリア長として全体を統括する後藤 誠さん。



昭和30年代に建設された「スターハウス」(手前)は、上空から見ると星形のユニークな建物。建て替え時に1棟だけ残し、現在は管理サービス事務所に。生活支援アドバイザーもここに常駐。



まちにわ師の西田淳子さん(右)と岩穴口亜紀さん。岩穴口さんはこの団地で生まれ育った。ここに来ると知り合いにも会えるので、毎日立ち寄っている。制作中の折り紙は、入口に飾る。

多世代が生き生きと暮らし続けられるまちへ

一方、団地を中心に地域の高齢化が急速に進んでいることを背景に、UR都市機構は団地の地域医療福祉拠点化を進めている。これは行政や地域の方々と連携しながら、介護・医療・子育てなどのサービスや支援体制の充実、多様な世代に対応した居住環境の整備、多世代のコミュニティ形成を図っていくもの。団地では地域包括支援センターを中心に関係者が定期的に集まり、高齢者支援の情報共有や課題解決を図り、高齢者の相談対応や安否確認を行う生活支援アドバイザーを配置した。

さらに、高齢者が要介護状態になっても地域に住み続けられる基盤をつくるため、UR都市機構は(株)日本生科学研究所と共同で、診療所やサービス付き高齢者向け住宅、小規模多機能ホーム、グループホームなどを集めた「日生ケアヴィレッジひばりが丘」を整備。ここでは団地に住み続けながら利用できる24時間の生活支援サービスも用意している。

「子どもから子育て世代、高齢者

教室など、さまざまな催しが開かれている。また、乳幼児連れのママを対象に、手遊びや工作などをする「まちにわりビング」やカフェでの「バーイベント」、「ジョギング会」といった、まちにわや住民が企画するイベントも行われている。

こうしたまちにわ独自のイベントを担っているのが、「まちにわ師」の面々だ。まちにわ師とは住民を主役にした活動をサポートするボランティアで、養成講座を経て誕生。ひばりテラス118の運営や季刊紙AERUによる情報発信などにも腕を振るう。2015年11月のテラスのオープン以来、2016年末までに3期の募集が行われ、約30名が活動している。年齢も住まいの場所もさまざまだが、「地域に貢献したい」「まちをよくしていきたい」という思いは共通だ。

「地域のために何かしたいと思っていても、ゼロから自分で始めるのは難しい。募集は渡りに船でした」

と一期生の岩穴口亜紀さん。
「エリアの人と交流できると思っ
て応募しました」

同期の西田淳子さんという。
まちにわひばりが丘の運営は、コミュニティづくりが専門の企業に委託しているが、自主的な活動を軌道に乗せて2020年には住民の手に運営を委ねる予定だ。それを見据え、活動を裏方で支える事務局スタッフもなるべく地域の人を採用するようにしている。

「ただワイワイみんなで楽しくやるのではなく、最終的には子育てや高齢化などの課題の解決を図り、



ひばりが丘の団地再生事業を担当しているUR都市機構東日本賃貸住宅本部のメンバー。右から木村仁紀、山地将人、村田史子、清水真道。エリアマネジメントの取り組みは2016年度グッドデザイン賞を、団地再生事業は2016年都市住宅学会賞業績賞を受賞した。

困ったときに助け合える関係をつくっていくことが活動の目的です。住民の皆さんがどんどん自主的に取り組んで、僕の存在が早く不要になってほしいですね」

そう事務局長の高村和明さんは語っていた。

オープンから1年以上がたった今、催しに参加する人、ふらりと来てまちにわ師とおしゃべりする人など、来訪者はひきもきらない。特に乳幼児を抱えるお母さんたちには「ここに来れば誰かがいる、何か話せる」場として定着している様子だ。今後の課題はいかに幅広い世代の方々に幅広ってもらうか。スタッフもまちにわ師も、団地自治会との連携なども含めて、策を考える毎日だという。



まちにわひばりが丘の事務局長・高村和明さん。「URと民間デベロッパーが一緒になったひばりが丘だから、できることがある」と話す。

新しい時代を開くモデルケースに

ひばりが丘団地には、60年近い歴史と実績を誇る自治会がある。周辺から多くの来場者を集める夏祭りやバスハイク、食事会など、今も活発な活動を続けている。昔からお住まいの方々の交流は密で、半世紀以上自主運営する幼児教室を通じ、子育て世代との協力体制

も良好だという。
昨年から日生ケアヴィレッジの若い職員や、まちにわの方が祭りを手伝ってくれて大いに助かったと、自治会事務局長の井埜光一さんはいう。

「今後は、まちにわさんや民間マシションに住む皆さんと、祭りを共同で開催できればと思っています」

UR都市機構やパートナー事業者がハードを整備し、コミュニティづくりの専門家も加わって種を蒔き、地域の人々がつながりながら力強く育とうとしているこれらの取り組み。団地にとどまらず、周辺地域にも波及するものとして、また他の団地の先鞭をつけるモデルケースとしても注目されている。60年前、団地という新時代の住まいと暮らしを創ったひばりが丘で、今また展開するミクスコミュニティへの壮大な取り組みは、明日を切り開く大きな力となるだろう。



ひばりが丘団地自治会事務局長の井埜光一さんは、この団地に住んで44年。



壁紙屋本舗が手がけたDIYモデルルーム。レンガ調など多彩な壁紙を使い、団地の部屋が見事に変身。



SNSなどで話題のDIY愛好家、ranranさんが手がけたDIYモデルルーム。

部屋が変われば団地が変わり、まちが変わる！

千島団地 大阪市大正区

大阪市大正区にある千島団地は、区役所や公園に隣接した、まちの中心地に立つ2236戸の大型団地。築44年が過ぎて高齢化が進み、空き戸も増えている。ここで大正区と民間業者も巻き込んで、DIYでまちと団地を活性化させる新たな試みがスタートした。



「壁紙屋本舗ラボ」は千島団地内の空き店舗を活用。オープニングの日には、団地に住むおばあちゃんもやってきた。



右／壁紙張りのワークショップなども行っている。まさにここが大正区のDIYの拠点になる。下／ラボには、1時間240円で借りられる木エスペースがあり、電動工具もそろっている。

団地にできたDIY拠点に人が集まる

区長がDIYの実践部隊として声をかけたのは、楽天市場のショップ・オブ・ザ・イヤーも受賞しているリノベーションの専門店、壁紙屋本舗。すでに大正区の事業に参加していた社長の濱本廣一さんは構想に賛同。本社を大正区に移転し、千島団地内の空き店舗を改装して、DIYの基地となる「壁紙屋本舗ラボ」を開設した。

イベント当日は団地の内外からたくさんの方々が来場があり、カフェも併設された店内は大にぎわい。濱本さんは、「DIYに興味のあ

DIYには、まちを変えるエネルギーがある

千島団地でUR都市機構、大正区、壁紙屋本舗（DIY専門店）の三者がコラボレーションした「団地丸ごとDIY TAI SHO ☆UP」が始まっている。これは新しく募集する千島団地のすべての住戸を、DIY可能にするという画期的な取り組み。ここに三者がどう関わり、活性化へのシナリオをどう描いているのか。2016（平成28）年11月23日に開かれたオープニングイベントにおじゃまして、まず

「なんかおもしろことやろう！」と三者の思いがひとつになって、TAISHO☆UPプロジェクトがスタートした。その仕掛け人三人衆、左から壁紙屋本舗社長の濱本廣一さん、筋原章博大正区長、UR都市機構西日本支社長の西村志郎。



大正区長の筋原章博さんに事の経緯をうかがった。

筋原区長は「DIYをする人には熱量がある」と言う。

「これまで大正区では、古い長屋を改修して店舗などにする取り組みを行ってきましたが、そのときにDIYをする人たちには、周りの人々を巻き込むエネルギーがあることに気づきました。もしかして



「DIYとは、暮らしを自分の手で変えること。暮らしを豊かにすることなんです」と話す壁紙屋本舗ラボの店長・林耕一郎さん。



JR大正駅から急行バスで約5分。買い物も便利で住みやすい千島団地。住戸丸ごとDIYがOKで、退去するときにも原状回復しなくてよいのは魅力。

る人は確実に増えているし、DIYが好きなのはこだわりの強い人が多い。団地にこのラボがあることで、大正区への人の流れが生まれ、DIYで好みの住まいが作れるなら、ここに住みたいという若い世代も増えるのでは」と期待する。

例えばDIYでお気に入りの部屋ができたら、SNSで発信するだけでなく、その部屋を誰かに見てもらいたくなる。そのノウハウを教えたくなるし、隣の部屋の人

がDIYを始めたら、手伝いたくなるだろう。「このようにDIYはコミュニケーションのきっかけになり、DIYを媒介にしたコミュニティも生まれます。DIYの拠点である千島団地から、さまざまな可能性が広がると思います」

まちの魅力アップそれが団地の活性化に

壁紙屋本舗ラボ店長の林耕一郎さんは、DIYの力をそう語った。「賃貸住宅を探すとき、まず住みたいエリアを決めてから、物件を探しますよね。団地の活性化は、団地だけではできません。まずその団地のあるまち、エリアの魅力をアップさせること。そのためには広い視点に立った相互連携が不可欠です」

UR都市機構大阪エリア経営部企画チームリーダーの岩田雅人は、取り組みへの意気込みをそう語る。DIYをキーにしたUR都市機構と大正区、壁紙屋本舗との初の試み。1つの部屋がDIYで変われば、団地が変わり、そこから大正区が変わる。「大正区、面白そうだな、ここに住みたい」と人が集まってくる。そんなまちとともに、UR都市機構の挑戦は続く。



「次の課題は、団地に住む皆さんをどう巻き込むか」と話すUR都市機構西日本支社の岩田雅人。

団地のお部屋再現

国立歴史民俗博物館 (赤羽台団地)

「戦後の生活革命」をテーマにした展示コーナーに、昭和37年に建設された赤羽台団地(東京都北区)のダイニングキッチンなどが実物大で展示されている。

●千葉県佐倉市城内町117
☎03・5777・8600(ハローダイヤル)

松戸市立博物館 (常盤平団地)

昭和30年代、松戸市が大規模な住宅都市へ変貌する転機となった、4,800戸を超える常盤平団地の室内を復元展示している。

●千葉県松戸市千駄堀671
☎047・384・8181



UR都市機構 集合住宅歴史館 (蓮根団地ほか)

昭和32年に建設された蓮根団地(東京都板橋区)をはじめ、晴海高層アパート、多摩平団地などを移築・復元展示し、集合住宅技術の変遷をたどる。事前予約制。

●東京都八王子市石川町2683-3
☎042・644・3751 (UR都市機構 技術・コスト管理部 技術管理分室)

スクエアJS

URの集合住宅の改修技術や製品の開発を担当する日本総合住生活株式会社(JS)技術開発研究所。事前に予約すれば、実験用に設置された昭和40年代の団地の住戸や開発商品など施設内を見学できる。

●埼玉県さいたま市桜区田島7-2-3
☎048・714・5000

*開館日や時間、入館料などは各施設に直接ご確認ください。



上／学芸員の津田紘子さん(左)の説明を聞きながら、三種の神器といわれたテレビ、洗濯機、冷蔵庫をはじめ当時憧れの電化製品や家具が並ぶ室内を楽しむ永井さん。

左／かつては共同だった洗濯場。ひばりが丘団地では効率よく動けるバルコニーに洗濯機置き場と水道が設置されている。

材を譲り受けたり、当時の職人を探して木製の浴槽を造ってもらったりしたという。

ダイニングキッチンにステンレス製の流し台が設置され、浴室と水洗トイレ、壁掛型洗面器まで住戸内にある団地暮らしは、当時最先端であり、庶民の憧れだった。

「団地ができる前の日本の家は、食事のときには居間にちゃぶ台を出し、それを片付けて布団を敷いて寝るというスタイル。ダイニングキッチンの登場により、食事と寝る部屋が別になり、また、お母さんも家事をしながら会話に加わることがで

き、家族だらんの新しいかたちが生まりました」

そんな津田さんの説明にうなづく永井さん。小学生の頃は近所にあった巨大団地内の公園で友達と遊びまわっていたという。

「当時に比べて生活が便利になっているなかで、個食や家族がそれぞれ別の部屋で過ごす時間が多いことなどを考えると、当時は家族の距離がもっと近かったなあと懐かしく思いました」

アンティーク店に並んでいそうなものがたくさんあって、記憶がいくつも蘇ったという永井さん。昔の団地の展示でこんなに楽しめるなんて思わなかったと驚きながら、江戸東京博物館を後にした。

江戸東京博物館

江戸・東京400年の歴史を楽しく学べる博物館。ひばりが丘団地の展示は、5階の常設展示室東京ゾーンにあります。

東京都墨田区横綱1-4-1 ☎03・3626・9974 <http://www.edo-tokyo-museum.or.jp/>
9時30分～17時30分(土曜日は～19時30分)、閉館の30分前までに入館
月曜(祝日、振替休日の場合は翌日)、年末年始休み



※通常は展示の内部に入ることはできません。

昭和30年代のひばりが丘団地に 江戸東京博物館で タイムトリップ！

永井美奈子さん

フリーアナウンサーの永井美奈子さんが、江戸東京博物館を訪ねた。お目当ては、高度経済成長期の集合住宅の暮らしを再現した展示の見学だ。

「あつた、あつた、こんなのあつた、懐かしい！」

団地の展示を前にした永井さんが何度も歓声を上げた。視線の先には、ブラウン管テレビや電気釜などの電化製品、そしてダイニングキッチンに置かれた椅子や時計などのあれこれ、どれもリアルだ。

江戸東京博物館の「高度経済成長期の東京」の暮らしを紹介するコーナーには、今号の特集で紹介している、ひばりが丘団地の住戸の一部が実物大で展示されている。

「東京の集合住宅の変遷を紹介するにあたり、昭和34年に広大な敷地に誕生したひばりが丘団地を再現して展示しています。天皇陛下が皇太子時代に美智子様と視察されるなど注目を集めていました」と説明する同館の学芸員・津田紘子さんの案内で、今回は特別に展示の室内にも入れてもらった。

来館者の会話が弾むようリアルな再現にこだわり、取り壊しが始まっていたひばりが丘団地にも足を運んで、実際に使用していた部



ひばりが丘団地の展示は、2015年の館内リニューアルで誕生。間取りのなかで一番多かった2DKの一部を実物大で忠実に再現している。



安全なまちづくりのためにタッグを組む、
右から荒川区防災街づくり担当係長の大内
武彦さん、防災まちづくり協議会会長の安
部義治さん、UR都市機構の中山裕子。



上／UR都市機構が建設した従前居住者用賃貸住宅「コンフォール町屋」。
エントランスには町屋を走る都電の軌道を模したデザインが。
左上／手前の3軒の住宅の土地を、道路拡幅整備に合わせて取得した。
左下／取得した不燃化促進用地では、地域の皆さんで活用ルールを考え、
このような看板を立てている。



右上／荒川区立防災センタ
ーの1階に「建築相談ステ
ーション」を開設し、不燃
化住宅への建て替え相談
などを受け付けている。窓口
開設時にはUR都市機構も
手伝った。
右下／町内各所に防火用水
が置かれている。

荒川区が道路拡幅とともに
整備した公園では、学校帰
りの子どもたちが大勢遊ん
でいた。



「ここで生まれた空地は、いずれ住宅を
建てたり、道路の一部に使われるので
が、それまでの間、この空地をどうする
か。地元の防災まちづくり協議会の皆さ
んで話し合い、土地利用のルールを決め
ていったのです。これは自分たちのまち

「土地を買う場合も、中立・公平なUR
は地権者の立場に立つて考え、この土地
を必ず不燃化促進のために使うという信
用を得られるのが強みかもしれません」
と中山はいう。

不燃化が進み、まちが変わりつつあるこ
とを実感できるエリアとなっている。
UR都市機構独自の取り組みに、木密
エリア不燃化促進事業がある。これは荒
川区の要請を受けてUR都市機構が地区
内の土地を取得し、周辺の不燃化建て替
えや道路整備の代替地などに活用するの
が目的だ。

数分を荒川区が借り
上げて、移転対象者
に提供し、2015
(平成27)年4月か
ら入居が始まった。

「コンフォール町
屋」の周囲は道路が
拡幅され、隣には区
立図書館や子ども施
設を含む複合施設の
建設が進んでいる。
まちの人々にとって、

「ここで生
まれた空地は、い
ずれ住宅を
建てたり、道
路の一部に使
われるので
が、それまで
の間、この空
地をどうす
るか。地元
の防災まち
づくり協
議会の皆
さんで話し
合い、土地
利用のル
ールを決
めていった
のです。こ
れは自分
たちのま
ち

「土地を
買う場合
も、中立
・公平な
URは地
権者の
立場に
立つて
考え、
この土
地を必
ず不燃
化促進
のため
に使う
という
信用を
得られ
るのが
強みか
もしれ
ません」
と中山
はいう。

UR都市機構独自の取り組みに、木密
エリア不燃化促進事業がある。これは荒
川区の要請を受けてUR都市機構が地区
内の土地を取得し、周辺の不燃化建て替
えや道路整備の代替地などに活用するの
が目的だ。

数分を荒川区が借り
上げて、移転対象者
に提供し、2015
(平成27)年4月か
ら入居が始まった。

「コンフォール町
屋」の周囲は道路が
拡幅され、隣には区
立図書館や子ども施
設を含む複合施設の
建設が進んでいる。
まちの人々にとって、



広域避難場所の荒川自然公園に向かう主要生活道路を6mに拡幅した。電柱の位置が元の道路幅を思い起こさせる。

URの
まちづくり
最前線3

荒川二・四・七丁目地区 東京都荒川区

区とともに、木造住宅密集地を 安全なまちに変える

京成電鉄と東京メトロ千代田線が交差する町屋駅から徒歩約10分。
古い木造住宅が密集する「荒川二・四・七丁目地区」で、
荒川区とUR都市機構、東京都が連携して、
燃えない・燃え広がらないまちをつくる取り組みが進んでいる。

積み上げたノウハウで 荒川区をお手伝い

町屋駅から南に歩き出すと、まもなく
ビルは姿を消し、木造住宅や小さな工場
が肩を寄せ合うように集まるまちに入る。
人がやっとすれ違えるほどの細い路地を
挟んで住宅が向かい合い、玄関先にはた
くさんの植木鉢。ここが「荒川二・四・
七丁目地区」。木造住宅密集地域（木密
地域）の改善を図るため、東京都が指
定した不燃化特区の一つだ。ここは築30年
以上の木造の建物が約4割を占めており、
荒川区では平成32年度までに地区内の不
燃領域率を特区指定時の58・4％から70
％に引き上げ、「燃えない・燃え広がら
ないまち」の実現を目指している。
「私たちがこれまで培ってきた密集市街
地整備のノウハウを生かし、いくつもの
手法を取り入れて荒川区のお手伝いをし

ています」とUR都市機構で密集市街地
の整備を担当する中山裕子が説明する。
荒川区がUR都市機構と連携して進め
るのは、①主要生活道路の幅を広くして
避難路を確保 ②従前居住者用賃貸住宅
の確保 ③不燃建築物への建て替え促進
④老朽化した建物の除却の取り組みなど
で、東京都もこの一角に、幅25メートル
の都市計画道路整備を始めている。

賃貸住宅の建設や 不燃化のための土地取得

不燃化特区のコア事業のひとつが、従
前居住者用賃貸住宅の建設。これは道路
拡張などで移転しなければならぬ居住
者向けの賃貸住宅で、UR都市機構が都
営住宅跡地を取得して賃貸住宅「コンフ
ォール町屋」を建設し、管理している。
高齢の1人暮らしの方が多くと見込んで、
1Kの間取りを増やしている。必要な戸

を考える人が増える、よいきっかけにな
りました」と話すのは、荒川区防災街づ
くり担当係長の大内武彦さん。

古くからの住民が多く、コミュニティ
ーは濃密だが、これまでではどちらかとい
うと役所任せの一面があったという。不
燃化推進に伴う変化のなかで、自分たち
のまちについて主体的に考えるようにな
ったという。

また、老朽化した建物の除却も大きな
問題で、特に空き家となったまま放置さ
れ危険な状態の住宅は持ち主を探し出し、
除却の助成金や、固定資産税減額といっ
た不燃化特区の特例を説明。UR都市機
構は区の担当者とともに除却に向けた働
きかけを地道に行っている。

他にも、主要生活道路の幅を6メー
トルに広げる用地取得の交渉支援や防災ま
ちづくり協議会の活動支援など、荒川区
のマンパワーの不足を補いながら、UR
都市機構は燃えないまち・燃え広がらな
いまちづくりに取り組んでいる。

地元の防災まちづくり協議会の会長を
務める安部義治さんは、お祭りを核とし
て、地元の人々の結びつきが強いと話す。
「地域で高齢の方の見守りをしています
し、防災訓練も行っています。災害に弱
い自分たちのまちをよくしたいという思
いを、皆が持っています。ですから今、
区とURさんが進めている取り組みに、
皆、大いに期待しています」

大阪市 ほたるまち周辺

URが手がけた土地が、時を経て、素敵な
まちに育ちました。地図を手に歩いてみませんか?

開発前	開発期間
大阪大学病院跡地	2002年~2007年

0m 100m 200m



子どもに大人気!
ゆるキャラ
エビシ♥

リバーデッキで
川べりを歩けて、
緑も多いほたるまち
エリアは解放感
たっぷり! ホット
できます。

ランチや夜は
福島方面も
いいお店が
いっぱい!

朝日放送アナウンサー
ヒロコ 歩美さん

「朝だ!生です
旅サラダ」
出演中!

満喫 ほたるまち&福島!

洗練されたやさしい空間ほたるまち
おいしさとリーズナブルな価格にひ
かれて若い人も集まるようになった
福島、新しいハイブリッドな魅力に
あふれたエリアです!

ピザだけを出した
かったのていろんな飲食
店がたくさんあってハミゴ
が簡単にできるここ福島
で店を出しました!

ラピッツァ ナポリタナレガロ
ピザ職人 新添 智久さん

22

ナポリピザの世界大会
第2位の実力派シェフが
イタリアで作った窯で焼く
絶品ピザ!

「記念日の
ケーキ屋さん」と
「ワイン立ち飲み処」
の2軒構成。
●アニバーサリー2001

ボン・シヨウも
食べに来たおいしい
からあげの中華料理店。

ラピッツァ ナポリタナレガロ

天使の
プリン

看板犬に
会えるかも
ライブもあり!

パネ ポルチーニ
小さなパン屋さんはい
つも大混雑!
並んでも買
いたいおいし!

塩フオカッチャ

茶琉屋
たこ焼き
飲み屋!

朝日放送
ABC
ホール

花くじら本店
おでんの人気店!

狭めの
店内には
若い人も
たくさん!

福澤諭吉
誕生地記念碑

堂島川

中え島

ジャズレストラン
Red&Blue
ミュージックチャージなしで
音楽を楽しむレストラン!

ほたるのような
やさしい光で
川を照らす街—

満喫 中え島

東西約3kmに計23本の
橋がかかる中洲。江戸時代
には全国諸藩の蔵屋敷が
置かれ、豪商も育ち、商都
大阪の中枢になりました。

国立国際美術館
竹の生命力と現代美術
の発展・成長をイメージ
した外観がワール!

大阪市立科学館
惑星の軌道を表した
楕円形の外観。地下に
は世界最大級のプラ
ネタリウムドームがある。

月刊島民 中え島

中え島とその周辺の
情報を多彩に深掘り
しているフリーペーパー。
2016年に100号を
超えた人気マガジン!

中え島の魅力に
くぎづけ♥

満喫 水都大阪!

太閤秀吉の時代から江戸時代
にかけてたくさんの堀川が作られ、
物流の拠点として栄えた大阪。
今も川とともにあります!

季節や時間帯で
豊かに表情を変える
川の景色が大好き!
「かもめ」で多くの方に
伝えたいです!

御舟かもめ船長
青木 美香さん

ウナギが釣れる
ポイント! (20cm
以下はリリース)

水晶橋

フルズいろいろ!

御舟かもめ
定員10名のかわいい
舟でのんびりクルーズ。
好きなコースを選んで予約。
貸し切り利用もOK!

朝ごはんクルーズ
「採れたて農園朝食を
食べながらの至福の
50分」
あやき♥

アクアライナー
大型水上バス。
橋の背が低いので
平べったいデザイン。
大阪城港など
4つの港を回る。

両岸の橋の
たもとに
あ・うんの
ライオン像。

カフェやバル、酒処
など多彩なお店が
川床を設置、川や橋
が間近で気持ちいい!

難波橋・ライオン橋

1 大阪市中央
公会堂

2 大阪府立
中え島図書館

大阪
市役所

日本銀行
大阪支店

大江橋

阪神高速道路

3 大阪市立
愛珠幼稚園
現園舎 1901年~

4 青山ビル

5 オペラ・ドメーヌ高麗橋

6 芝川ビルディング

五代 友厚

7 新井ビル

8 北浜ビルディング

9 大阪証券取引所

10 北浜ビル

11 北浜ビル

12 北浜ビル

URが1999年~
2008年にかけて
開発し、2008年
5月にオープン!
(市立愛日小学校
等跡地)

ODOROKI
OTONA
odona

大人たちにいつも
楽しいサプライズ
を提案!

満喫 大大阪時代!

1920~30年代、大阪は経済・産業の黄金期を
迎え、人口・面積ともに東京を超える大都市に。
当時の近代建築が数多く残る船場エリア
は、オープンエアのレトロビル博物館!

近代建築 ほんの一部をご紹介します!!

- 重文...国指定重要文化財
- 有文...国登録有形文化財

1 大阪市中央公会堂
重文 1918年~
辰野金吾設計
「辰野式」の傑作。
一部見学OK。
各部屋は会議
などに貸し出さ
れている。

赤レンガに
白い帯=辰野式

東京駅も
辰野式!

2 大阪府立中え島図書館
重文 1904年~
広く市民に開かれた
近代建築の代表格。
カフェ・モダン・キッチン
は北欧のオシャレな
オープンサンドの店。

3 新井ビル
有文 1922年~
厳選した国産の米
や黒豆などでスイーツ
を作る「五感」が入る。
1・2階の吹き
抜けがすてき

4 青山ビル
有文 1921年~
甲子園から
移り住んだ
ツタにおあ
われるビル。
庶民的で
楽しい。

5 オペラ・ドメーヌ高麗橋
1912年~
「辰野式」
が映える
キュートな
ビル。

6 芝川ビルディング
有文 1927年~
「マヤ風」装飾
を取り入れた
個性派ビル。
テナントも
個性派ぞろい。

B1 Mole & Hosoi
Coffees
元銀行の地下金庫の
重い扉の奥に
広がる
落ち着いた
喫茶店。

豊臣秀吉
区画を
40間×40間
(80m×80m)
にしたのは
このわし
じゃ!

一日がかりで
仕込んだ高級素材。
寿司飯との相性
もバッチリ!

吉野煮 1841年~
二寸六分
「二寸六分の懐石」と
言われる大阪箱寿司を
生み出した老舗。



野蒜ヶ丘1号橋と野蒜駅連絡通路の開通を祝って、参加者みんなでハト形風船を青空に飛ばした。「ひがしまつしま福幸まつり」のオープニングとあわせ500個以上のハト形風船が舞い上がった。

造成された野蒜ヶ丘（野蒜北部丘陵地区）。3エリアに分かれ、すでに引き渡し済みの写真奥の西部・中央エリアには住宅が建ち始めている。手前右側が野蒜駅前に広がる、2016年11月末に宅地の引き渡し完了した東部エリア。

奥

松島を抱える風光明媚な宮城県東松島市。UR都市機構は、東日本大震災で7割以上の住宅が全半壊した東松島市と協力協定を結び、市内2地区の復興市街地整備と災害公営住宅の整備を支援している。すでに引き渡し済みの東大田地区に続き、2016（平成28）年11月には野蒜ヶ丘（野蒜北部丘陵地区）の最後の92区画を引き渡し、

これにより野蒜ヶ丘の278の宅地すべての引き渡し完了した。東松島市にとっては、市内7つの防災集団移転促進事業のすべての宅地整備が完了したことになる。そして11月20日、

造成された広大な野蒜ヶ丘を望むJR仙石線の野蒜駅の駅前広場で、「ひがしまつしま福幸まつり」が盛大に開かれた。

この日は野蒜ヶ丘の宅地引き渡し式に加え、エリア間を結ぶ橋梁「野蒜ヶ丘1号橋」と「野蒜駅連絡通路」の開通式、さらには「野蒜市民センター」と「東松島市奥松島観光物産交流センター」の開所式：と、お祝い続き。まつり会場には、新鮮な海や山の幸を並べた地元産品の販売ブースなどが70以上も連なり、特設舞台では地元の小中学生による「ふるさと宮野蒜太鼓」をはじめ、さまざまな演目が繰り広げられた。カキや地元の米粉団子入りの「だまこ汁」、樽酒、生海苔などもふるまわれ、子どももお年寄りも皆うれしそうだった。式典で阿部秀保東松島市長は、大規模事業での新たなまちの誕生

への喜びと期待を語るとともに、「国内外から物心両面にわたるご支援をいただき、再生と復興をなしとげることが恩返しだと思っています」と支援に対する感謝と、今後への決意を言葉にした。

「まちごと高台へ」その願いを叶える

野蒜ヶ丘は、津波で浸水被害を受けた野蒜地域のまちの主要機能を丸ごと移転するために、山林を切り開いて造成した地。約91・5ヘクタールという東日本大震災の被災地の中でも最大級の高台移転先に、住宅はもとより、小学校や保育所、駐在所、消防署など



●東松島市と大船渡市でのUR都市機構の取り組みの詳細が紹介された「週刊新潮」掲載の「変わる日本の「暮らし」と「まち」」がWEBでご覧いただけます。
<http://www.ur-net.go.jp/info/change/>

ひがしまつしま福幸まつりには「八鷹(やつたか)みこし」も登場。右側に見える建物が野蒜市民センター。



高台の新たなまちの誕生に弾む心、高まる期待！

東北三県の24の自治体で復興まちづくりを支援しているUR都市機構。支援のかたちや内容はさまざまだが、いずれも自治体と連携し、地元の人たちに寄り添いながら進めている。

WEB UR PRESS

「UR PRESS」オンライン版で、パソコンやスマホからドローンで撮影した東松島の動画がご覧いただけます。



福田正紀=ドローン撮影

復興の「今」を見に来て！

第9回 Part1

東松島市
宮城県



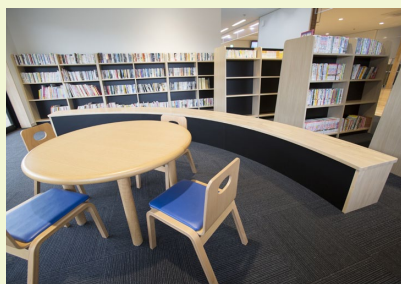


まちづくりの仕上げは、
ここに住まう
移転者の皆さんです！

造成した野蒜ヶ丘の
地に立ち、さまざま
な思いのこもった新
たなまちの誕生に期
待を寄せる。UR都
市機構東松島復興支
援事務所所長 清水
良祐(左)と市街地整
備課課長 亀山隆。

「みんな悩みや心
配がいっぱいある
項目にも上ったと
いう。」

的に議論するのに驚き、背中を押
されたという。
住民の要望をまとめて市に提言
し、理想のまちづくりを進めてき
たのは、主に野蒜北部丘陵振興協
議会のメンバーだ。週に2〜3回、
夜に仮設住宅を順番に訪ねて住民
の悩みや希望を聞き、要望をジャ
ンルごとに整理して市に提出。U
R都市機構も加わって検討して、
「できる」「できない」あるいは「検
討中」の回答を受け取る。「でき
ない」場合はその
理由も説明しなが
ら、要望を出した
人に必ず返答する
ことを続けてきた。
集まった要望は手
すりの設置から集
会所の仕様、街路
樹や道路関連まで
と幅広く、500
項目にも上ったと
いう。



地域交流の拠点として野蒜駅前に誕生した野蒜市
民センター(上)。隣接する奥松島観光物産交流セ
ンター(左)では地場産品の販売や観光案内を行う。
両施設とも県産の木材を使用している。

し、仮設住宅でただ待っているの
はつらいんです。お茶を飲みなが
ら我々が悩みや希望を聞いてあげ
ることがメンタルケアになる。そ
して要望への回答をきちんと伝え
ることが、待つ時間を埋めること
にもつながるんです」
と語るのは、野蒜北部丘陵振興
協議会会長の齊藤均さん。その
地道な活動に感嘆していると、



「まちの元気と感謝の気持ちを集めて東松島市の
復興をみんなで楽しもう！」と開催された、ひがし
まつしま福幸まつり。写真右上から時計回りに、
蒸しがきのふるまい、鏡開き、大東文化大学全學
應援團によるエールの演武、東松島市のマスコッ
トキャラクター、イトくんとイーナちゃん。



「すごいのは、URの清水所長だ
よ。協議会の会合に毎回付き合っ
て、住民の話に丁寧に耳を傾けて
くれるんだから。直接要望を聞い
ているから、判断も対応も早いし
ね。こんなに心のやさしい、人の
気持ちを丁寧に扱ってくれる人は
いない。本当に感謝しています」
と齊藤さん。同協議会副会長で
あり、災害公営住宅部会長を務め
る齋藤剣一さんも、うなずきながら
「清水所長は地区の小さな行事や
祭りにも、地場の
おみやげをもって
必ず顔を出してく
れる。土日や祝日、
夜など自分の時間
をつぶして付き合
ってくれる。そん
な清水さんとUR
さんを住民も信頼
しているから、話
し合いもスムーズ
に進みました」
互いの思いを伝
え合いながら信頼
関係を育み、進め
られてきた野蒜ヶ
丘のまちづくり。
敷地内の災害公営
住宅170戸の完

駅の南側エリアと高台をつなぐ歩行者の動線として、JR仙石線の線路下に配置された野蒜駅連絡
通路。土砂搬出のためのベルトコンベヤーを通した設備を利用して造られた。



が順次建設されている。JR仙石
線の野蒜駅、東名駅も地区内に移
設されている。
そして、住民と行政が一体とな
って話し合いを重ね、まちづくり
を進めてきたのが野蒜ヶ丘の特徴
だ。UR都市機構も計画段階から
関わり、被災地復興や市街地整備
などのノウハウを生かしながら事
業の推進に尽力してきた。
山林の造成は難しいのではとい
う意見も当初はあったが、特別名
勝松島に指定されている野蒜地域
ゆえ、海側から造成地が見えない
造りにするなど、景観に配慮。ス
ピードを重視して高台へまちごと
移転したいという地元の人々の願
いを実現した。
「アップダウンのある地形の難工
事なので、造成で出る大量の土砂

を計画期間どおりに運搬できるか
が大きな課題でしたが、ベルトコ
ンベヤーと巨大重機の導入により、
15カ月の予定だった期間を10カ月
に短縮できました」
とUR都市機構東松島復興支援
事務所所長 清水良祐は振り返る。
巨大ベルトコンベヤーで1日に10
トントラック1650台分の土砂
を搬出したのだ。2012年4月
の着任以来、一日でも早い完成を
との思いで奔走してきた清水にと
っても、今回の引き渡し完了は感
慨深い。
**住民の夢と希望が
詰まったまち**
UR都市機構の亀山 隆市街地
整備課課長は、地区の皆さんが前
向きで、まちづくりに関して積極



感慨深く宅地引き渡し式に臨んだ野蒜北部丘陵振興協
議会会長の齊藤均さん(右)と、同副会長の齋藤剣一さ
ん(左)。協議会の活動はボランティア。「5年、10年
先を見据えて話をしましょう」と志高く、住民をまと
め引っ張ってきた。



「なべやき」は黒糖やりんごなどが入った和風ホットケーキ(上、右下)。「かまもち」は小麦粉を練った半円形のおもちに甘味噌を入れたお菓子(左下)。どちらも素朴な味。

共同作業の中で生まれる触れ合い

交流イベントは、ベンチ修理とお菓子作りの2班に分かれて作業し、最後に「お茶っこ」で合流するという流れ。越喜来中学校の1・2年生34名が参加した。

お菓子作り会場となった所通東アパートの集会所を訪ねると、黒糖とりんごの甘い香りに迎えられる。この日のメニューは地元でおなじみの伝統菓子「なべやき」と「かまもち（鎌餅）。中学生たちがフライパンの中の生地を裏返そ

うか迷っていると、「もうちょっとだな」と入居者の方からアドバイスが飛び、少し待って中学生が上手に裏返すと、会場からわーっと歓声が上がった。

「子どもたちはこの日を楽しみにしていました。近くにあってても親戚や知り合いが住んでいないと集合住宅に行く機会がないので、地元の人と交流し、地元のことを知るよい機会になると思います」と中学校の太和公恵先生。また大船渡市都市整備部住宅公園課住宅管理係の大津泉係長は今回の交流イベントの目的について

「越喜来にはこれまで鉄筋コンクリートの集合住宅がなかったため、中学生に集合住宅の人たちも地域の一人であることを理解してもらいたい。地域の皆さんと共同作業をする中で会話や触れ合いが生まれ、仲良くなってもらえたら」と語る。実際、ベンチを修理しながらの会話の中で、

「あれ、〇〇くんのおじいちゃんなの？」とか「〇〇の息子かあ」とわかって打ち解ける様子も見られた。

締めは全員で一緒に「お茶っこ」。完成したお菓子を前に「作って楽しく、食べておいしいのが、お菓子の魅力です」と笑顔で語るのは、お菓子作りを提案した中学2年の花崎 踊さん。

「家ではなべやきにフルーツを入れたことがなく、分量も違うので勉強になりました。郷土の食べ物、私たちが引き継いでいかなければ」と力強いコメント。

「釘の打ち方とか、ペンキを塗る順番を教わりながら作業しました。おじいちゃんやおばあちゃんとお茶を飲むのが好き。こんどお手玉など教えてもらえたら」と微笑んでいたのは、ベンチ修理に参加した中学2年の岡澤風華さんだ。

所通東アパートの坂本喜一郎自治会長は、「今日は最高でした」と満面の笑みで振り返り、「一生のいい思い出になります。集会所は開放していますので、いつでも遊びに来てください。お茶っこしましょう」と中学生に語りかけた。培ってきたノウハウをもとに、

これまでも自立的なコミュニティ形成に向け、市や自治会のサポートをしてきたUR都市機構。今回も裏方として、所通東アパートの入居者の皆さんと地域の人々をつなぐサポート役に徹した。

「中学生のアイデアが実現できて、皆さん楽しんでくれてよかったです。1回の交流で終わるのもったいないので、次につながることを願っています」と交流イベントを担当したUR都市機構の松本京子も今後に期待を寄せる。

お茶っこで交流。おいしいものがあれば、笑顔になる。写真中央が所通東アパート自治会長の坂本喜一郎さん。



復興の「今」を見に来て！ 第9回 Part2 大船渡市 岩手県

災害公営住宅の入居者と中学生がなごやかに交流

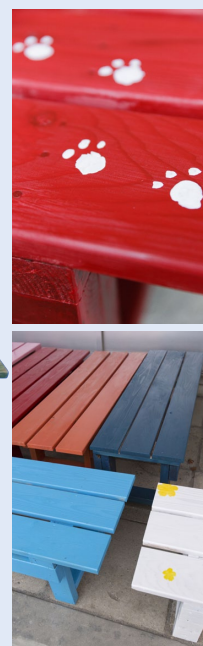
力

ンカンカンと賑やかな音がこだまします。ここは大船渡市立越喜来中学校の体育館。災害公営住宅の所通東アパートの入居者と越喜来中学校の交流イベントが開かれ、共にベンチの修理中。鳴り響いているのは、釘を抜いたり打ったりする音だ。

大船渡市の要請を受け、UR都市機構が建設した災害公営住宅の所通東アパートが完成したのは2



所通東アパートの入居者と中学生がグループになり、そこにUR都市機構の職員も加わって、仮設住宅で使用していたベンチを補修。座面の板を外して、新たに地元産の気仙杉の板を張り、ペンキを塗った。完成したベンチは運動会の際などに地元の人に座ってもらえるよう一部は中学校に、一部は所通東アパートに設置した。



015（平成27）年11月。目と鼻の先であり、工事に協力してもらった越喜来中学校の生徒さんへ感謝を込めて、UR都市機構は完成した所通東アパートに招待して見学会を実施した。その時に中学生に提案してもらった、アパートに入居される方との交流方法のアイデアが、引き渡しから1周年となる2016年11月に、交流イベントというかたちで実現した。



参加メンバー

- A** 後藤萌咲 **D** 大家志津香
B 村山彩希 **E** 田名部生来
C 佐藤七海 **F** 峯岸みなみ



AKB48
「誰かのために」プロジェクト
東北復興支援
岩手県
大船渡市・越喜来小学校
おふなと夢商店街

A K B 48のメンバーが被災地を訪問するのは、今回で61回目。岩手県大船渡市を訪れたのは昨年11月20日のこと。大家志津香、峯岸みなみ、佐藤七海、後藤萌咲、田名部生来、村山彩希の6名は、越喜来小学校の新校舎竣工記念とおふなと夢商店街でミニライブを行った。越喜来小学校の木の成長を願いながら、メンバ

ーも自身の10年後を想像していた。ミニライブ会場では、たくさん地元の子どもたちが大きな拍手と声援を送り、メンバーは集まった人たちに笑顔を届けた。越喜来小学校の子どもたちが歌を披露し、メンバーに花束を贈るひとコマも。峯岸みなみは「皆さんに私たちが逆に励まされました」と喜ぶ。61回目の訪問でメンバーが感じたのは「継続は力なり」だ。



防災緑地に、どんぐりの苗木を植樹。右上は薄磯地区の植樹祭での記念写真。



復興の「今」を見に来て!
第9回 Part3
いわき市
福島県

防災緑地でどんぐりの植樹祭開催

地 元の豊かな植生を残したい。そのような思いから2013(平成25)年にいわき市でスタートした「どんぐりプロジェクト」。豊間・薄磯の2地区の海側の防災緑地の一部が完成したのを機に、2016年11月20日、どんぐりの苗木の植樹祭が行われた。東日本大震災の津波で大きな被害を受けた豊間・薄磯は、もともと海と山に囲まれた自然豊かな地。地元の山で拾ったどんぐりを育てて植樹する、このどんぐりプロジェクトには多くの人が協力している。里親となつて多くの苗木を大事に育ててきたのは、地元の小学生や地区を支援するボランティア、行政関係者、そして神奈川県藤沢市と福島県西会津町の小中生たちだ。

安心して暮らせるような大きな防災緑地になることを夢見ながら木を植えていきたい」と、また薄磯の鈴木幸長区長は「大切に育ててきた苗木を自分の子どものように思つて植えてほしい」とあいさつ。清水敏男いわき市長は祝辞で「市内外のボランティアなどに育てられたこの苗が大きく育ち、いわき市を代表するほどの緑地帯に育つことを願う」と述べた。また参加者の小学生は、「苗が僕たちと一緒に成長して、復興につながるべくれればうれしい」と、いずれもどんぐりの成長に、まちの復興への期待を重ねていた。

豊間・薄磯は、福島県、いわき市との協定のもと、UR都市機構が高台の住宅地整備などを行う区画整理事業や防災緑地などの整備を担っている。どんぐりプロジェクトにも立ち上げ当初から関わり、今回の植樹祭でも裏方として多くの職員がサポートした。植樹祭の会場となつた防災緑地などの整備も含め、薄磯が2017年度、豊間は2018年度に完成予定。UR都市機構は引き続き両地区の復興に向けて、全力で取り組んでいる。



豊間地区の植樹祭。樹木医の指導のもと、50cm以上に育った苗木を丁寧に植えた。

浪江町 復興まちづくりの加速化を目指し、浪江町とUR都市機構が覚書を交換

2016年11月29日、浪江町とUR都市機構は、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故からの復興まちづくりの加速化を図るため、「浪江町の復興まちづくりの推進に向けた覚書」を交換した。この覚書は、これまでのまちづくりや過去の震災、東日本大震災からの復興まちづくりで培ってきたUR都市機構の技術やノウハウを生かし、原発避難区域の市町村として、大熊町、双葉町に続き、浪江町と相互協力することを確認したもの。さらなる支援に力を入れていく。

少ないもので快適に暮らす“ミニマリスト”。
中道ミニマリストを自称する人気プロガー“やまさん”ことやまぐちせいこさんが、
モノを減らすコツや楽しさ、そのメリットをお伝えします。



After 現在 白を基調に色数を最小限に抑え、見た目の凸凹をなくしました。色・高さに統一感を持たせることでスッキリとした印象へ。

置き場所&置くモノを整理

歯ブラシ、せっけん、歯磨き粉以外の身だしなみグッズ(ドライヤーなど)は無印良品の収納ボックスへ、洗剤は洗面台下の収納へ、と用途によって場所を分けて管理。複数の人が使う場所ほどモノが増えがちなので、男女兼用のヘア用品や多用途に使える洗剤などを持つことで、モノの数を抑えています。

Minimalist

やまぐちせいこ

洗面所を明るく スッキリとした空間に

引 っ越し先の洗面所が古くて暗い印象だったので、テーマを「白」と決めて色数を抑え、設備の高さをそろえました。それだけで空間はスッキリします。洗面台を交換し、壁紙を張り替えることで、見違えるほど印象が明るくなりました。

Before

灰色の洗面台に、一部にグリーンが入った洗濯機と、複数の色があり、収納用品と設備の高さもバラバラ。モノの数は少ないものの、どこか雑然とした印象でした。



やまぐちせいこ

大分県在住。夫と子ども2人の4人暮らし。著書に『少ない物ですっきり暮らす』(ワニブックス)、『無印良品とはじめるミニマリスト生活』(KADOKAWA)、『シンプル思考ですっきり身軽に暮らす』(マイナビ出版)などがある。

ブログ「少ない物ですっきり暮らす」 <http://yamasan0521.hatenablog.com/>

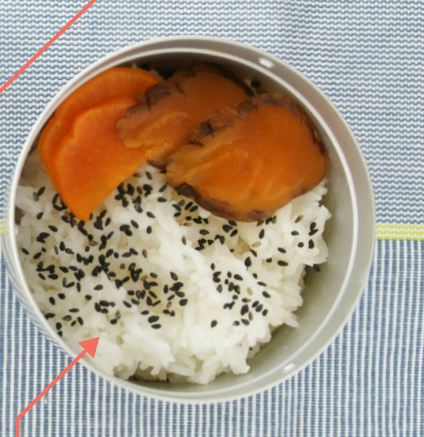
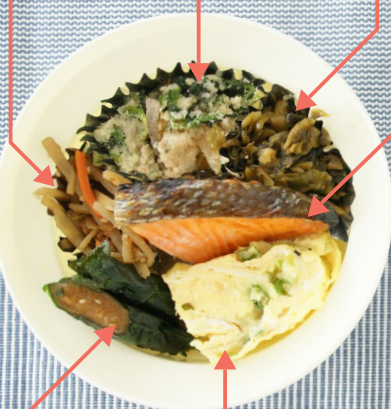
父が作るおから料理。安く手に入るのだから我が家の定番。

青菜の油炒め。米沢では青菜の塩漬けを、塩抜きして油炒めにします。

焼き鮭が弁当に入るのは、我が家ではハレの日。肉や魚が入ることはめったにありませんでした。

冷蔵庫の中に卵1個と煮物しかない。そんな時、兄は弁当作りにさ

きんぴらごぼう。



甘い味噌を大葉で巻いて油で揚げた「しそ巻き」は、山形や仙台ではおなじみ。



兄の苦肉の策、ネギで増量した卵焼き。これがうまく、今でもたまに作ります。

卵焼きと、ごま塩ごはん、漬物だけの弁当の時もありました。



お弁当箱の話

ネットオークションで落札したランチジャー。本当は味噌汁も入る3段タイプのものが欲しかったのですが。

男子弁当
の
ススメ!

3 懐かしのランチジャー

生 まれ育った山形県米沢市は豪雪地帯、寒くなるとランチジャーが活躍しました。味噌汁も入るつわもの弁当箱です。

我が家は貧しく、父に育てられた兄と私。煮物などは親父が作っていました。日頃の弁当や食事作りは、小学生の頃から兄の担当でした。冷蔵庫の中に卵1個と煮物しかない。そんな時、兄は弁当作りにさ

相田幸二

1975年、山形県米沢市生まれ。現在は宮城県在住。「幸せ料理研究家」としてテレビや雑誌で活躍。『こうちゃんの簡単料理レシピ』(宝島社)シリーズは230万部を超えるダブルミリオンセラーに。

ブログ「こうちゃんの簡単料理レシピ」
<http://ameblo.jp/wanwan2005/>



たなかやすこ

今号のテーマ

ジャガイモは 袋栽培が手軽で便利

ジ ャガイモは土の中にできるものだから、ベランダでの栽培は難しいのでは、と思っていませんか? いえいえ、ベランダでも立派なジャガイモが収穫できます。しかも袋栽培で……。

肥料や培養土の袋を利用することもできますが、見ためにおすすめるのは不織布の袋。バッグや服を買ったときに商品を入れてくれる袋でもいいですし、ラッピング用に雑貨屋さんや100円ショップで売っているものでもOK。35cm×45cm程度の大きさがあれば栽培できます。私は、不織布の袋をソフトなタイプのバケツに入れて使っています。安定性が増し、ベランダでの移動にも便利です。



ジャガイモは品種が豊富。栽培の難しさはさほど変わらないので、ぜひ気軽に挑戦してみてください。

新しいイモは、意外に地表に近いところにできるので、イモに日光が当たらないように株元に土を足す必要があります(増し土といいます)。袋栽培だと、増し土がとても簡単にできます。種イモを植える際は袋の口をくるくると外側に折り曲げておき、増し土で土の量が増えるたびに、折り曲げていた部分を伸ばしていけばいいのです。

収穫の際も袋は便利。プランターだと収穫の際に移植ゴテなどでイモを傷つけてしまうことがありますが、袋なら、袋をずるずると下げて行けば簡単にイモが現れます。

緑色の部分は
きちんと取り除きましょう

point!

ジャガイモの芽や、日光が当たって緑色になってしまった部分には、ソラニンやチャコニンという毒が含まれています。食べるときは皮を厚くむき、芽はその周囲も含めて取り除きましょう。栽培中はイモが日に当たらないように増し土を行い、収穫後は冷暗所で保管します。未熟な小さなジャガイモは、ソラニンを多く含んでいる場合があるので注意が必要です。

cultivation

育ててみよう! ジャガイモ

1月になると種イモの販売が始まります。3月上旬に植えて6月には収穫できます。

Step

1

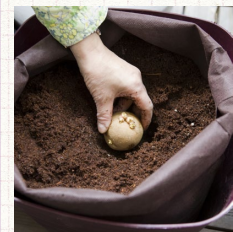
袋に水はけ用の穴を開け、鉢底石を入れてから培養土を20cm程度入れ、種イモを1つ置いて上から土をかぶせます。地表から種イモまでが8cm程度の深さになるように。



Step

2

ある程度芽が育ってから、太い芽を2本残して、他は根元からハサミで切り取ります(この作業を芽かきといいます)。



Step

3

イモは地表近くにできてくるので、土の下にすっかり隠れているように、増し土をします。増し土は収穫まで何度か行います。



草丈が30cm程度に育つと花が咲きます。花が咲いたら追肥をします。

Step

4

植えてから3カ月ほどたち、茎や葉が黄色っぽくなってきたら収穫のタイミング。袋を脱がすようにして収穫しましょう。

UR INFORMATION

UR都市機構からのお知らせ

PHOTO & SKETCHING

「UR賃貸住宅 団地景観フォト&スケッチ展2016」 「東日本大震災 復興フォト&スケッチ展2016」審査結果発表

UR都市機構が2016年に主催した2つの公募展に、全国から1,000を超える作品が寄せられ、入賞作品が決定しました。入賞作品はUR都市機構のホームページでご紹介しています。

団地景観	http://www.ur-net.go.jp/urbandesign/sumit/contest2016/result/
復興	http://www.ur-net.go.jp/fukkou-photosketch/contest2016/result/

入賞作品展を開催します!

「UR賃貸住宅 団地景観フォト&スケッチ展」& 「東日本大震災 復興フォト&スケッチ展」

日程：2017年2月24日(金)～2月26日(日)

場所：横浜ランドマークタワー ランドマークプラザ1階 フェスティバルスクエア

内容：団地景観・復興共に、全年度の作品の一部を展示します。
〔団地景観：2008～2012・2014～2016年の8年分〕
〔復興：2014～2016年の3年分〕

「東日本大震災 復興フォト&スケッチ展 2016」

福島 日程：2017年3月4日(土)～3月8日(水)

場所：コラッセふくしま1階アトリウム(福島県福島市)

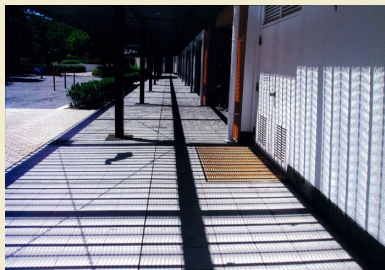
岩手 日程：2017年3月9日(木)～3月11日(土)

場所：アイーナいわて県民情報交流センター4階県民プラザ(岩手県盛岡市)

宮城 日程：2017年3月10日(金)～3月12日(日)

場所：AER2階アトリウム(仙台市青葉区)

*上記3県の沿岸部の市町でも開催予定です。



団地景観 フォト大賞

タイトル：プロムナード

氏名：平野昌子さん

団地名：金沢シーサイドタウン並木一丁目第一
(横浜市金沢区)

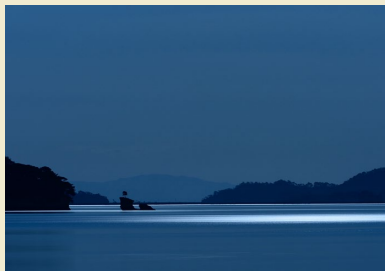


団地景観 スケッチ大賞

タイトル：小さなスケッチ旅行

氏名：中野登貴子さん

団地名：あやめ台(千葉市稲毛区)

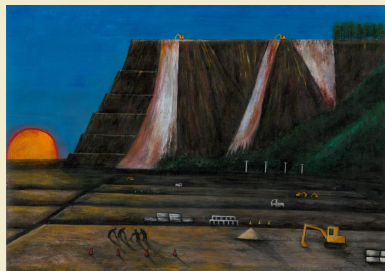


復興の歩み 大賞(フォト)

タイトル：記憶と記録

氏名：岩崎孝さん

場所：宮城県宮城郡松島町



復興の歩み 大賞(スケッチ)

タイトル：復興に流れる白滝～大槌風景～

氏名：鈴木宣人さん

場所：岩手県上閉伊郡大槌町

From Editors

初めて一人で担当したひばりが丘団地の特集。ひばりが丘のことばかり考えている日もあったので、「ひばりさん」と呼ばれて思わず返事をしてしまうこともありましたが、名前が少し似ています。

名前といえば、ひばりヶ丘駅は開業時、田無町という駅名でしたが、ひばりが丘団地の造成に併せて改称したそうです。また、ひばりを英語にした名前のファミリーレストランチェーンは、ひばりが丘団地にあった食品店が発祥だとか。団地を超えて駅名に、そしてファミレスの名前になって全国へ広がっていたんですね。

今は団地を超えてまちになりつつあるひばりが丘。酉年の今年にはさらに飛躍する予感があります!

(UR都市機構・広報担当F)

次号のお知らせ

「UR PRESS」49号は2017年4月末発行予定です。お楽しみに!

MOVIE

陸前高田を舞台にしたドキュメンタリー映画『息の跡』が公開

東 日本大震災の津波で流された店舗を自力で再建し、独学の英語で自らの体験を綴って出版した“たね屋”の佐藤貞一さんを中心に、岩手県陸前高田の風景や人々の営みを記録した映画『息の跡』が完成。2月18日(土)からポレボレ東中野を皮切りに、順次全国で公開予定です。震災後、東京を離れて陸前高田で暮らし始めた映像作家の小森はるかによる劇場長編デビュー作です。



©2016 KASAMA FILM+KOMORI HARUKA

<http://ikinoato.com/>

「がんばる東北しょっぷ」から <http://www.rakuten.ne.jp/gold/ganbarutohoku-shop/> がんばる東北しょっぷ で 検索

東日本大震災で大きな被害を受けた岩手、宮城、福島で復興事業に取り組むUR都市機構は、現地の商店や事業所を応援するため、通販サイト「楽天市場」にオープンした「がんばる東北しょっぷ」に協賛しています。海産物や寿司、調味料やお菓子など東北の美味が揃っています。ぜひ「がんばる東北しょっぷ」のサイトをのぞいてみてください。



奥松島産の濃厚な「生かき」のむき身。

CROSSWORD PUZZLE & PRESENT

プレゼント付きクロスワードパズル

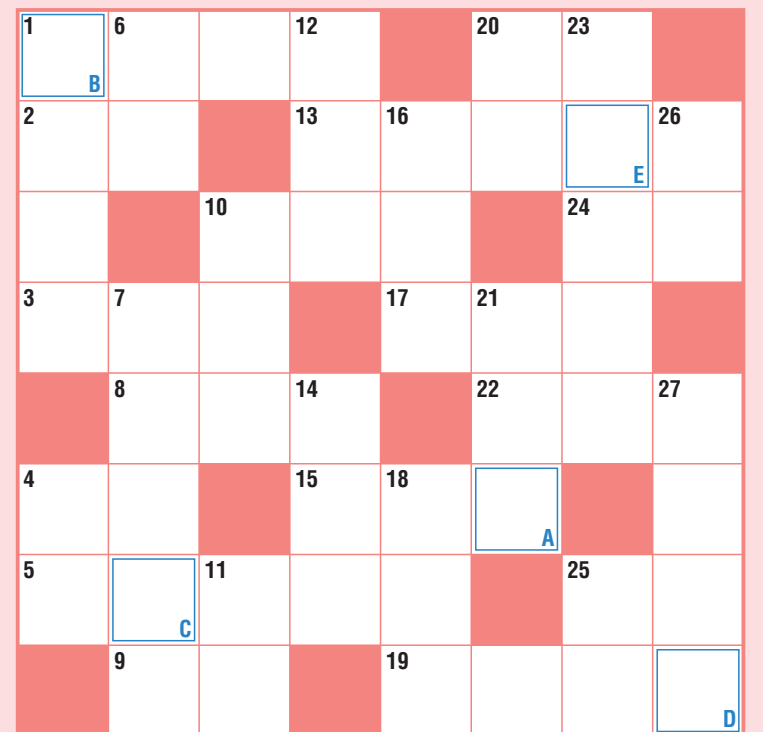
パズル制作 ニコリ

ヨコのカギ

- この障子、——が悪いのか
開け閉めのたびにガタガタいうなあ
- 暖炉やカマドにくべるもの
- ほっと心を休める——のひとつき
- 一寸先は——
- イルカ。——キック
- この部屋は、高層階なので——がよいのです
- 桃——三年柿八年
- スタートすること。試合——
- あわててしでかす思い違い
- 実るほど頭の下がる——かな
- 名人の——も高い
- 九州の県。世界遺産の屋久島はここに含まれます
- 魚を捕るのにも使われます
- 泳げない人が頼りにするリング状のもの
- 進物に付けます
- ランプの炎を囲んでいるガラス

タテのカギ

- 仏作って——入れず
- 泊まること
- もさるもの引っ掻くもの
- 湯に溶いて、さましたものを赤ちゃんが飲みます
- 描かれたもの。——館
- 人の——見てわが——なおせ
- 春の——がたよう
- どんな患者も治しちゃう
- オバケ—— 武家——
- 北を背にして進みます
- は野となれ山となれ
- 優勝——の強豪チーム
- ドライブ中に立ち寄れる施設。
休憩したり、地場の産物を買ったりできます
- 夜空中キラキラ
- 借りたお金につくもの
- 近畿地方の県。
世界遺産になっている熊野三社があります



プレゼント&応募方法

クロスワードパズルを解いて、プレゼントにご応募ください。

PRESENT 1

塩レモン味
牛タン切り落とし
3名様



「がんばる東北しょっぷ」で売上ランキング1位(2017年1月15日現在)の仙台名物、牛タンの切り落とし。スパイシーな塩こしょう味にレモンが香るのが特徴で、そのまま焼いても、野菜と一緒に炒めても! 250g入りで冷凍でお届けします。

PRESENT 2

200%(満足度)
「トマトジュース」
5名様



福島県いわき市産のサンシャイントマトを贅沢に使ったトマトジュース。トマト本来の酸味と甘みがたっぷり詰まった極上の味です。「がんばる東北しょっぷ」の大人気商品。160ml入りを2本セットで。

PRESENT 3

書籍
『一日一日、強くなる
伊調 馨の
「壁を乗り越える」言葉』
5名様

アスリートはもちろんビジネスパーソンや受験生など、目標へ向けて挑む人々へのヒントになる伊調馨さんの言葉が満載の1冊。



PRESENT 4

江戸東京博物館入館券ペア 5名様

本誌15ページで紹介しているひばりが丘団地の常設展示が見られる江戸東京博物館の入館券(常設展)をペアで。見所満載の博物館です。利用期限は2017年9月末まで。



● 応募方法

本誌付属の応募はがきに、クロスワードパズルの答えと希望プレゼント番号、必要事項をご記入の上、郵送してください。

● 応募締め切り

2017年4月30日(当日消印有効)
当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

47号の解答

A ダ B ン C チ D ノ E ビ

